北相模総守護社

亀ヶ池八幡宮

社報 亀ヶ池

第12号［平成24年1月1日発行］

発行／亀ヶ池八幡宮社務所
〒252-0243
神奈川県相模原市中央区上溝1678
TEL.042-751-1138　FAX.042-757-3811
URL http://www.kamegaike.jp
E-mail:info@kamegaike.jp

いちょう

へ伊勢へ行きたい
　伊勢路が見たい
　せめて一生に一度でも

伊勢音頭の歌詞のように、昔は江戸（東京）から片道十五日程、京都・大阪から五日程かけ、水盃を交わし家を出て参宮したと言われている。

日本国民が総氏神と崇敬する伊勢の神宮は、平成二十五年秋の第六十二回式年遷宮に向けて、本年三月に立柱祭並びに上棟祭が執り行われ、その打つ槌の音は高く神路山に響きそして五十鈴川に染み入り、いよいよ新しい御正殿の建築が始まろうとしている。

真の日本民族の魂を甦らせる式年遷宮を通じて、国も民も改まっていくという意義を体せば、この式年遷宮が日本人にとって何よりも大切な儀式であるとの理解を促し、国民こぞって盛り上げてゆくことが大事であると願ってやまない。

櫻町天皇御製

あまてらす
　神のさづけしかがみこそ
むべわが国の光なりけれ

遷宮で結ぶ人の輪 心の輪
第六十二回神宮式年遷宮

年頭のご挨拶

宮司　根岸信行

新年明けましておめでとうございます。平成二十四年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げますと共に、皇室の弥栄と氏子崇敬者皆様の平安とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

皇室におかれましては、平成二十三年十月二十日、皇后陛下美智子妃殿下には目出度く喜寿の慶賀を迎えられ、益々ご壮健にてお過ごしあそばされております。また同年九月六日秋篠宮ご夫妻の長男悠仁親王殿下には、早くも五歳のお誕生日をお迎えになり十一月三日健やかな成長を祈り「着袴の儀」と「深曽木の儀」が行われ、元気に天皇皇后両陛下にご挨拶されました。

昨年は、三月十一日宮城県岩手県を中心とした東日本大震災が起こり、更に福島県の原発事故が発生し未曾有の被害を齎しました。また、九月には台風十二号が西日本に上陸また、十五号が日本縦断するなど多大な被害が発生し、地球温暖化の影響も含めて異常な気象現象によるものなのか、日本は大変な御難続きの一年でありました。

さて、今年の干支は「壬辰」です。「壬」の字は「妊」に通じ、植物の内部に新しい種子が生まれた状態を表し、また「辰」は陽気が漸く盛となり、草木が変化伸張する状態を表しているとされます。これに因み今年こそは、新たな日本の再生の年となり、皆様にとって佳き年でありますようお祈り申し上げ、年頭のご挨拶と致します。

夏越大祓式

去る七月二日午後三時、夏の日差しの中、亀ヶ池八幡宮第二十六回夏越大祓式・茅の輪くぐり神事が斎行されました。日頃知らず知らずのうちに身についてしまう罪・けがれを祓い清めて、このあとの半年を無事健康に過ごせるよう祈念する意義がありますが、三月には東日本大震災という大災害がありましたので、災いの浄化とともに一刻も早い復興を合わせてお祈り致しました。

総代世話人、地域の氏子を始め、崇敬者など四百余名、大勢の参列者が茅の輪をくぐり、疫病退散・厄災除け、健康長寿を祈願されました。

相模原市氏子総代会結成総会開催

昨年七月十一日、亀ヶ池八幡宮参集殿に、旧相模原市内三十八神社の責任役員百二十余名が参集して、相模原市氏子総代会結成総会が開催されました。

総会前の代議員会で正副会長（三名）、監事（二名）を推挙、その後総会にて承認され、引き続き規約、事業計画、予算案が承認されました。吉田茂穂県神社庁長様はじめご来賓方々の祝詞を賜り、目出度く結成総会が終了しました。なお副会長に当八幡宮の清水亨総代長が選出され、その手腕・活躍に期待が寄せられています。

平成23年 亀ヶ池八幡宮 例大祭を厳修に斎行

13･14号アベック台風が列島をうかがう特異な気象で前夜から降り出した雨も、式典1時間前に止み陽が差した9月17日午前10時、例大祭が開始されました。

亀ヶ池八幡大神の御神恩への感謝と氏子崇敬者の一層の繁栄を祈る、年に一度の大祭であり、お祓いを受けた後御本殿に参列者全員が昇殿され、献幣使に神奈川県神社庁理事･寒川神社宮司利根康教氏を迎え斎行されました。

特に祭典では、3月11日に宮城県岩手県を中心に発生した東日本大震災で大きな被害を受けた方々が一日も早く住みなれた町や村で元気に生活が送れるよう根岸信行宮司が復旧復興祈願の祭詞を奏上し、続いて昭和天皇が日本国の安寧を願い詠まれた「浦安の舞」が巫女により奉奏され、厳粛裡に執り行なわれました。

境内では上溝剣友会はじめ市内の少年剣道愛好会の奉納試合や田尻自治会囃子連のお囃子、また神楽殿では神代神楽や地元有志による演芸等神賑行事が行われ御例祭をお祝い申し上げました。

健やかに七五三

11月に入り秋色も深まってくると、御社頭は七五三詣に訪れる家族連れで華やかな賑わいを見せ、微笑ましい光景が繰り広げられました。

七五三行事は遠く平安時代より公家などで子どもの無事成長を願い始まりましたが、江戸時代になって庶民に広まりました。

3歳の男女児を「髪置き」、5歳の男児を「袴着」、7歳の女児を「帯解」といい、それぞれ子どもたちは晴れ着を着て神前で手を合わせて、「健康で良い子に育ちますように」と感謝の気持ちを込め、お祈り致しました。

神社庁設立六十五周年 神社総代会連合会設立五十五周年 記念大会開催

好転に恵まれた十二月三十日、神社庁設立六十五周年・神社総代会連合会設立五十五周年記念大会が横浜ロイヤルパークホテルにて開催されました。午前十時に第一部の物故神職総代慰霊祭が斎行され、当八幡宮根岸信行宮司が副祭主を務め、また福田満理権禰宜が御霊安かれと朝日舞を奉奏しました。午後二時三十分開会された第二部記念大会において当八幡宮総代小林亮氏が表彰の栄に浴され、二三〇余名の受賞者を代表して謝辞を述べられました。第三部は記念講演、第四部は懇親会が行われ、今後の神社界の隆昌と参加者各位のご健勝ご活躍を祈念し有意義な大会が閉幕されました。

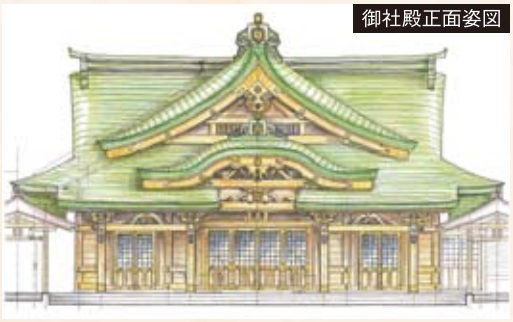
泣き相撲 第二回「亀ヶ池場所」開催

大変好評だった昨年の第一回亀ヶ池場所に続き、第二回亀ヶ池場所を開催します。どうぞ奮ってご参加下さい。

詳しくは4頁下「ご案内」または、ホームページをご覧下さい。

平成の御社殿・御神門 御造営のお知らせ

御社殿正面姿図



亀ヶ池八幡宮では、明治維新100周年・天皇陛下御即位60年・亀ヶ池八幡宮第11回還暦大祭・平成御大典等々の記念事業を通して、境内建物や構築物等の整備事業を逐次進め、亀ヶ池八幡大神の御神徳の宣揚に努めて参りました。これも偏に、崇敬者皆様方の赤誠あふれる御好意による賜物と感謝申し上げます。

さて、亀ヶ池八幡宮は、元弘・文禄・明暦・延宝・宝暦とその時代ごとに御社殿再建の変遷がありましたが、関東大震災後に建築され、80余年の風雪に耐えてきました現御社殿は、愈々老朽化が進み雨漏りの発生、また御祈祷者の増加により拝殿が手狭になる等不都合をきたし、更には耐震強度の問題等災害への対応に不安を抱く状態であります。

完成予想図

そこでこの状況を踏まえ、御参拝者各位のご要望にもお応えし、ご便宜を図るべく、ここに御社殿・御神門等御造営の平成大事業を致したく存ずる次第でございます。

つきましては、亀ヶ池八幡大神の広大無辺な御加護のもとに、尊き御神縁に結ばれました御信仰深き皆々様の絶大なる御協力と御賛同を戴き、本事業が滞りなく恙なく、そして見事に完遂されますよう切に念じ上げるものでございます。

先ずは、平成の御社殿・御神門等御造営のお知らせと致します。

亀ヶ池八幡宮
宮　司　根岸信行
総代長　清水　亨
総代・世話人一同

健康お宝船 其の六

病院創立以来六十有余年に亘り敬神の念篤く元旦祈祷等をされてきた相模原協同病院の先生方から、氏子崇敬者皆様方の健康保持に貴重な記事を頂戴しております。今号は同病院脳神経センター脳外科の杉谷雅人先生より寄稿頂きましたので、掲載致します。

脳卒中、特に脳梗塞について

相模原協同病院
脳神経センター　脳外科
杉谷雅人 先生

脳卒中とは、卒然として中（あた）る。さっきまで元気だったのに、突然しゃべれなくなったり、手足が動かなくなったりすることです。脳梗塞や脳出血、くも膜下出血などを指します。ここでは、頻度の一番多い脳の血管が詰まる脳梗塞についてお話しします。非心原性脳梗塞と心原性脳梗塞に分けられ、最近は前者を、アテローム血栓症の中の脳疾患という位置づけで考えられるようになってきています。

非心原生脳梗塞

近年、日本でも冠動脈疾患（狭心症、心筋梗塞など）、脳動脈疾患（一過性脳虚血発作、脳梗塞など）、末梢動脈疾患（間欠性跛行など）が増加しています。これらの病気が動脈硬化を基盤としていて、最終的に血管が詰まり発症するという共通の疾患概念が新しく出てきました。これをアテローム血栓症と呼びます。

食生活の変化、高齢化とともに少しずつ疾病構造も変化が見られています。「がん」とともに、動脈硬化を基盤とする血管疾患で亡くなる方が増えてきています。脳の血管の場合は、頚動脈と脳内の比較的大きな血管で動脈硬化が起こり、特に頸動脈の動脈硬化が多く見られ、必要に応じて手術もなされています。また、頚動脈狭窄のある人の三〇％は冠動脈病変が認められます。更に、脳、心臓、足の動脈硬化の合併は一〇％程度ある事がわかってきています。逆に、心筋梗塞などの心血管疾患を調べる時に頚動脈の超音波検査を行うと頚動脈にも病変が存在する事がわかっています。

相模原協同病院

これらの危険因子として、高血圧、喫煙、糖尿病、脂質異常症（コレステロールや中性脂肪が高い）などがあげられます。ただし、危険因子には男女差があり、女性は喫煙と糖尿病が特に強い危険因子です。脳疾患は、高血圧の管理が一番です。次に、動脈硬化を進展させる糖尿病、脂質異常症の管理となります。

ここ数年は、一過性脳虚血発作が注目されています。これは、一時的に手足の麻痺や話しにくくなると言った症状がでる状態で、緊急性を要する病態です。脳梗塞と同様に治療が必要となります。脳梗塞の予兆と考え、早期に治療する事で、一過性脳虚血発作発症後九〇日以内の脳梗塞の発生率が八〇％押さえられると言われています。

心原生脳梗塞

高齢になるに従い、心房細動が増加します。この心房細動によって心臓内に血栓ができる事があります。更にできた血栓が剝がれて、脳の太い血管に詰まると脳梗塞になります。これを心原性脳塞栓症と言います。脳梗塞の中で最も重篤になります。

纏めますと、高血圧、糖尿病、脂質異常症、心疾患とりわけ心房細動や心不全の管理を行い、禁煙をする事が大切です。万が一、手足の動き、顔面の麻痺、ろれつが回らないという症状があれば、早期の受診と検査、必要に応じて治療を行う事が重要となります。

平成十九年国民生活基礎調査の「寝たきりの原因」の第一位は脳卒中です。今一度、食生活、運動を含めた日常生活を見直して頂く事をお勧め致します。

神奈川県厚生連相模原協同病院
相模原市緑区橋本二―八―八
電話〇四二―七七二―四二九一

神社！豆知識　御神鏡

歴代の天皇が皇位とともに継承される八咫鏡は、三種の神器の一つとされ遠い昔より御神鏡として崇められてきました。「古事記」や「日本書紀」には、天照大御神が天の岩屋にお隠れになられた際、岩屋の外にお出ましいただくため、その岩戸の前で祭りをした時にこの八咫鏡が用いられました。この鏡は石凝姥命（いしこりどめのみこと）が奉製したのもと伝えられ、日本国民が総氏神様と崇める伊勢の神宮の御神体として祀られてきています。

時代変遷につれ現代では、御鏡は神様の御霊代とか御神体そのものであるとされ、神社や神棚に祀るようになりました。

また、鏡は参拝する人自身の心を映し出すものとされ、純朴で無垢な気持でこの鏡を通し、神様と心を通わせ参拝できるものです。

亀ヶ池八幡宮御神鏡

ご案内

平成二十四年節分祭

- 斎行日…平成二十四年二月三日（金）
- 式　典…午後三時
- 豆撒き師（年男・年女・厄年の人）のご希望の方は、当八幡宮へお申し込み下さい。（当日も受付け致します。）

第二回「心泣き相撲」「亀ヶ池場所」

- 日時…平成二十四年五月二十七日（日）午前九時半開会
- 会場…亀ヶ池八幡宮境内
- 応募資格…首のすわった生後六ヶ月位から二歳半位までの男女児
- 参加費…一三、〇〇〇円（四股名兜・二升餅担ぎ・福引・祈祷料・御守・その他含む）
- 募集人数…百五十名
- 募集期間…平成二十四年一月十五日より同年五月二十二日まで
- 申込・問合せ…Webサイト（http://www.nakisumo.jp/）からお申し込み下さい。

夏越大祓式（茅の輪くぐり神事）

- 斎行日…平成二十四年六月三十日（土）
- 式　典…午後三時
- 半年の罪穢を人形に移し清めて、心身共に蘇るお祭りです。お申し込みは、当八幡宮までご連絡下さい。（当日も受付け致します。）